

三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲で JFA × 三井不動産 初の価値共創イベント 「三井不動産フットボールスクエア」を開催

開催日: 2024年3月20日(水・祝)

三井不動産株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:植田俊)(以下、「三井不動産」と)、公益財団法人日本サッカー協会(所在地:東京都文京区、会長:田嶋幸三)(以下、「JFA」)は、社会課題に対する継続的なアプローチを行う価値共創活動として、3月20日(水・祝)に「三井不動産フットボールスクエア」を三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲(東京都江東区)にて初めて開催しました。なお、三井不動産とJFAは、三井不動産が推進するスポーツの力を活用した街づくりにおける連携と、2021年に創立100周年を迎えたJFAの歴史と伝統を継承し次の100年の発展に資する拠点を再編することを目的に、2023年10月JFAメジャーパートナー契約を締結しております。

近年、社会環境や生活様式の変化などで、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。PCやスマートフォンの普及により、テレビ視聴やゲーム、スマートフォンの利用などに費やすスクリーンタイム^(※)が増加した半面、運動する機会や、人とリアルにつながり交流する場と機会が減少しており、運動不足による体力低下が課題となっております。

本イベントは、運動の機会が減少している子どもたちのためにスポーツを通じた交流の機会を設けることで、コミュニティの創出や、サッカーやフットサルなどの経験がない子どもたちにサッカーとの偶発的な出会いをもたらすこと、人とつながる場を提供することで心身の健康状態を保つことを目指しています。

会場には13m×9mの広いケージのほか、サッカーの経験有無や年数にとらわれずにボールに触れてもらう機会を楽しんでいただくことを目的とした45㎡程度のサブゲージ、お絵かきコーナーを配置しました。

また、スペシャルゲストとして、元サッカー日本代表の松井大輔さん、元フットサル日本代表の稲葉洸太郎さん、元なでしこジャパンの阪口夢穂さんも駆けつけ、子どもたちと一緒にプレーしました。初めてサッカーボールに触れる未就学児からサッカー経験豊富なお子さままで、総勢500名を超えるお子さまたちに楽しんでいただき、大いに盛り上がりました。

※スクリーンタイム:平日1日あたりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間



スペシャルゲストの登場で子どもたちは大興奮



試合形式でプレーを楽しむ子どもたちの様子

スポーツには、「プレーする」、「観戦する」、「応援する」などの活動を通じて、暮らす人々や働く人々、憩う人々の心身を健康にするだけでなく、新しいつながりを生みだし、コミュニティを活性化する力があります。サッカーをはじめとしたスポーツには、街に賑わいを創り出し、街を訪れる人々の心を豊かにすることができる力があると考えており、今後も三井不動産とJFAは「三井不動産フットボールスクエア」の開催を通じ、両者のリソースを最大限活用した価値共創活動を行い、社会課題に対する継続的なアプローチを実施してまいります。

JFA×三井不動産「三井不動産フットボールスクエア」の様子



元サッカー日本代表 松井大輔さん



元フットサル日本代表 稲葉洸太郎さん



元なでしこジャパン 阪口夢穂さん



「三井不動産フットボールスクエア」の様子

JFA×三井不動産「三井不動産フットボールスクエア」概要

- 開催日時 2024年3月20日(水・祝) 10:00～17:00
- 開催場所 三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲 (所在地:東京都江東区豊洲 2-4-9) 1F ウッドデッキ
- 主催 三井不動産、JFA
- 対象 小学生以下のお子さま
- ゲスト 元サッカー日本代表 松井大輔さん
元フットサル日本代表 稲葉洸太郎さん
元なでしこジャパン 阪口夢穂さん
- イベント概要 ゲーム体験コーナー(メインページ)
ボールとの触れ合いコーナー(サブページ)
お絵かきコーナー

【添付資料①】 三井不動産の街づくりとスポーツ

■三井不動産の JFA とのパートナー活動

三井不動産は、2023 年 10 月から JFA のメジャーパートナーとしてサッカー日本代表を応援しています。2023 年 11 月にはシアターG ロッソ(東京ドームシティ)や三井ショッピングパーク ららぽーと堺などで SAMURAI BLUE アジア 2 次予選 ミャンマー代表戦のパブリックビューイングを実施したほか、2024 年 1 月には「フットボールキッズ in 東京ドーム」を開催するなど、三井不動産グループが運営する施設を活用し、サッカー界を盛り上げています。2023 年 12 月には、東京ドームシティ内に JFA サッカー文化創造拠点「blue-ing!」もオープンしました。今後もサッカー日本代表の活躍を応援するとともに、さまざまな取り組みを展開してまいります。

■「スポーツの力」を活用した街づくりのスローガン

三井不動産は、2016 年から「BE THE CHANGE」というスローガンを掲げ、スポーツの要素を盛り込んださまざまな街づくりを手掛けてまいりました。

ボルタリングウォールやスケート場を備えた「MIYASHITA PARK」(東京都渋谷区)、200m 陸上トラックなどを含むスポーツパークを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」(福岡県福岡市)、本格的なスポーツ・エンターテインメントイベントが実施可能な屋内型スタジアムコートを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと堺」(大阪府堺市)などの「場」を整えるとともに、子どもたちがアスリートの 1DAY のレッスンを受けられる「三井不動産スポーツアカデミー」等のイベント実施をはじめとした「コミュニティ」づくりを進めており、その取り組みを加速しています。

2024 年春には収容人数 1 万人規模の大型多目的アリーナ施設「LaLa arena TOKYO-BAY」(株式会社 MIXI との共同事業)の開業も控えており、今後も「スポーツの力」を活用した街づくりを推進してまいります。



一人ひとりが変化そのものになろうという意味の「BE THE CHANGE」のロゴは、世界を変える「風」をモチーフにデザインされました。三井不動産のコーポレートカラーの二色で塗り分けられたエレメントは、「風に乗って飛び立つ鳥」をイメージしています。「人が変われば、世界は変わる」という思いから、掲げたスローガンです。

【添付資料②】 三井不動産の SDGs への貢献について

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループの ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021 年 11 月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」、2023 年 3 月には「生物多様性」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】

・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

・「グループ生物多様性方針を策定」

<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2023/0413/>

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における 2 つの目標に貢献しています。

目標 3 すべての人に健康と福祉を
目標 11 住み続けられるまちづくりを



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS